

とやま青春の街

Toyama 'SEI-SYUN' Town

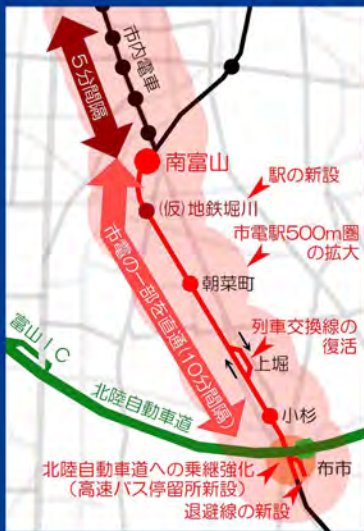
「青春」というキーワードで、南富山の街を創造する。

南富山駅周辺地区を活性化するために、「青春」という言葉をまちづくりのキーワードに位置付け、それを基点に
 ① 市内電車の延伸による南部地域の公共交通整備 ② 全ての世代が生き生きと暮らすことができる活性化策
 という2つの軸でのまちづくりを提案します。

《交通施策》市内電車の延伸による南部地域の公共交通整備

■市内電車の富山地鉄への延伸運転

市内電車(市内軌道線)の不二越・上滝線への乗り入れを早期に実現させる手法として、延伸効果の大きい布市駅までの部分乗り入れを提案します。上堀駅の交換線跡を復活させ、住民の生活の足として使える10分間隔での運行を実現します。南富山～朝菜町間に、(仮称)地鉄堀川駅を新設し、市電駅の利用に適した500m圏を拡大します。



■南富山駅の乗継ぎ機能の向上

市内電車の延伸に伴い交通の要衝となる南富山駅の機能を改善します。停留所移設による乗継ぎ距離の短縮、路線バスの駅構内乗り入れ、自転車駐輪場の整備により、市内電車・富山地鉄線・バス・自転車の相互連携を強化します。駅はガラス張りの上家で覆い、悪天候の時も快適に乗換えが行えるようにします。



《活性化策》全ての世代が生き生きと暮らすことができる街に

■高校を地域に開かれた場所に

高校の校門周辺に住民も利用できるオープンスペースを設け、街に若者の活気を伝えると共に、住民との交流を促します。生徒が昼食を外で取ったり、住民が部活動の練習や生徒の美術作品を見学することができます。



■地域全体で子どもを育てる施設

経済的に困窮した家庭の子どもに無料で食事を提供する「こども食堂」を整備します。また不登校児や虐待・いじめを受ける子どもも青春を謳歌できるようフリースクール・いじめシェルターを設置します。



■散策路/ランニングロードの整備

南西部を流れる冷川や北東部の水路を散策路として整備し、地域を周回する2つの散策/ランニングロードをつくります。中高生は部活の練習、現役の世代や高齢者は子どもとの散歩や日頃の運動不足解消に利用できます。



■多様な年代・役割の人々の協力

まちづくりには自治体だけでなく地元の企業や施設を利用し、協力を進めることが望まれます。また多様な年代と役割の人が参加できるように子どもとふれ合える施設や、ポイント制度の導入を進めます。

